

■開催趣旨

もし災害がおこって避難生活を強いられたとき、地域の人と協力し、限られたモノや道具を工夫しながら、とりあえずの生活を送るためスキルやマインドを養うキャンプの実施

■期日

2016年7月17日（日）5：46～11：00（5時間14分）

■会場

川辺郡猪名川町 尼崎市立青少年いこいの家

■参加者

54名（子ども38名、子ども会育成者6名、青年リーダー10名）

■概要

兵庫南部地震が起こった5時46分にあわせて集合し、身近な食材をつかって、みんなで協力して調理、食事をするを通じ、もしもの避難生活を送るための知恵と工夫を身につけた。

■実施スケジュール

時間	内容
5：46	お話し「阪神淡路大震災がおこったとき」
6：15	オリエンテーション
6：30	防災キャンプ ・アイスブレイキング ・災害の時に役立つ技を見てみる時間 ・災害の時に役立つ技をみかく時間 ・みんなで“災害のりきりごはん”をいただく時間 ・活動をふりかえりわかちあう時間
10：50	あいさつ 猪名川町子ども会連絡協議会副会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 猪名川町子ども会連絡協議会 太田はるよ
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 1名

■会場の様子



語り部



災害時に役立つ技を見る



災害時に役立つ技をみかく



災害のりきりごはんを食べる

■防災キャンプに参加してのこどもたちの感想

- ・つぶしたり、焼いたり、食べたりいっぱいした
- ・槇に火をつけるのは、見てみると簡単そうだったけど、やってみると難しかった
- ・朝ごはんをみんなと作ってうれしかった
ポテトサラダができたのは意外
- ・お菓子を挟んだサンドイッチは案外おいしかった
- ・火も使えない、水も使えないとなると大変だ！